

ぐんまちゃんレター



群馬県の旬のおすすめ情報を
「ぐんまちゃん」がお知らせします

2016年8月号

発行：群馬県広報課 ぐんまイメージアップ推進室
TEL：027-897-2695 FAX:027-243-3600
E-Mail：kouhouka@pref.gunma.lg.jp



織物のまち
桐生を歩く

日本遺産「かかあ天下一ぐんまの絹物語ー」



平成27年4月、群馬県内4市町村（桐生市、甘楽町、中之条町、片品村）にある12件の文化財から構成される「かかあ天下一ぐんまの絹物語ー」が日本遺産に認定されました。日本遺産は、文化庁が地域の文化や伝統の魅力を発信する物語を認定するもので、物語を読み解くように複数の文化財を訪れると、地域の魅力を再発見できます。

古くから絹産業が盛んであった群馬県では、女性が養蚕・製糸・織物で家計を支え、近代になると、製糸工女や織手としてますます女性が活躍しました。男たちは、「おれのかかあは天下一」と呼び、これが「かかあ天下」として上州名物となり、現代では内に外に活躍する女性像の代名詞ともなっています。

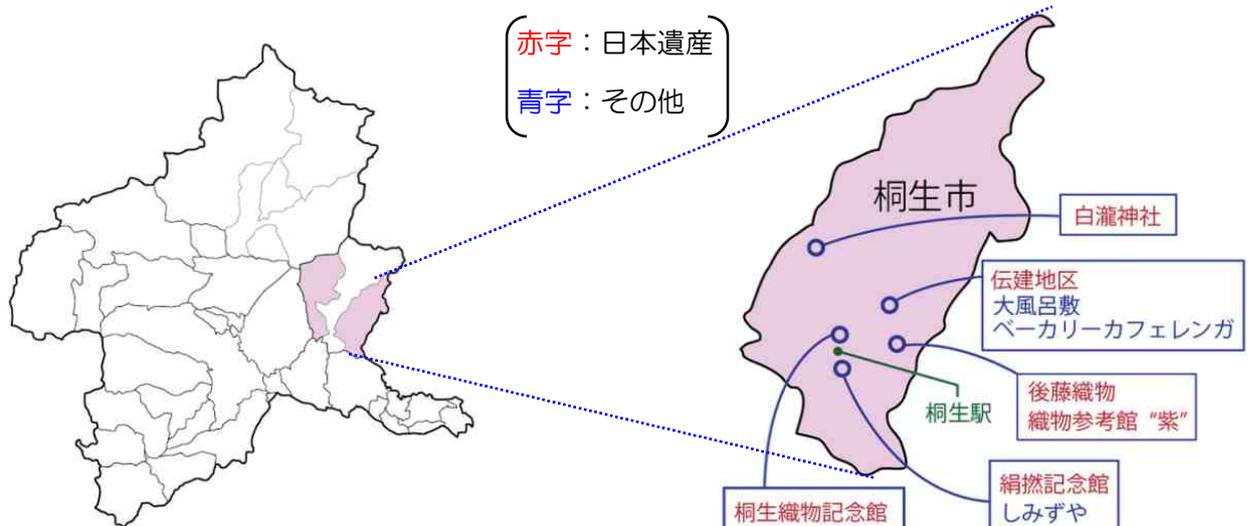
この女性の活躍の物語が日本遺産「かかあ天下一ぐんまの絹物語ー」です。桐生市には物語にまつわる構成文化財が6件あります。

西の西陣、東の桐生

日本製の生糸が世界を席巻するなかで、絹織物業も発展していきました。桐生は江戸時代から「西の西陣、東の桐生」と言われるように高級な絹の織物産地として知られています。この桐生を支えたのも機織り女と呼ばれた周辺の村から集まった女性たちでした。

明治に入ると桐生の町並みには、ノコギリ型の屋根が特徴的な織物工場が数多く建てられ、その中でさらに多くの女性たちが織手として活躍しました。また、撚糸（織物の種類に合わせて糸によりをかける作業）、機拵え（紋織りのための準備作業）にも女性たちが従事しました。彼女たちが仕事の合間に外食をしたり銭湯に行ったり、お気に入りの着物や、時には洋服を着て歩いたりしたまちには、女性たちが活躍した足跡、商家や工場の町並み、その奥には寄宿舍や銭湯もしっかりと残っています。

日本遺産を中心に、桐生市内の絹にまつわるスポットについてご紹介します。



～桐生市内をまち歩き～

・日本遺産を巡る

絹撚記念館 (旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟)

大正6(1917)年に建築された、糸に撚りかける撚糸工場の事務所棟で、県内最古級の洋風石造建造物です。工場内で学校を設置するなど、女工に技術と教育を施しました。

かつては敷地内にノコギリ屋根工場が並び建ち、糸の「撚り掛」を機械化した、全国6カ所の「模範工場」の1つでした。

現在は、郷土資料の展示施設として公開されています。

所在地：桐生市巴町2-1832-13

電話：0277-44-2399

見学：【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日

料金：高校生以上 150円、こども 50円



伝建地区 (桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区)

天正19(1591)年に桐生新町が形成されて以来、この地区は織物業の中心地として桐生の経済発展を支えてきました。桐生の織物業は大正期から昭和初期に最盛期を迎え、当時の町並みには買継商や糸商、呉服商、染物業など織物業の店舗などが建ち並びました。現在も商家や織物工場、寄宿舍、銭湯などが残っており、女工の暮らしが想像できます。

明治・大正時代の建物がレトロな雰囲気を出し出すこのエリアに足を運び、タイムスリップ気分を味わいませんか。

所在地：桐生市本町1丁目、2丁目、天神町の一部

電話：0277-46-1111 (桐生市観光交流課)



後藤織物

洋式染色技術を導入し織物の改良を行うなど、桐生織物業に貢献してきた後藤織物は、現在も帯地などの織物生産を行い、熟練の女性職人が活躍しています。現存する木造のノコギリ屋根工場のほか倉庫や釜場などは、織物生産のシステムをそのまま残しています。

過去にはハリウッド映画やNHKの連続テレビ小説で衣装が使われたことも。平日には工場見学も可能です。産地価格で帯をお買い求めいただけますのでご利用ください。

所在地：桐生市東1-11-35

電話：0277-45-2406

見学：月～金曜日(事前の予約が必要)

料金：300円



織物参考館“紫”

織物参考館“紫”(ゆかり)は、森秀織物の旧釜場、旧整経場、旧ノコギリ屋根工場などを利用した、体験型織物博物館です。

女性従業員による染色や手織の体験、織物の歴史の学習、古い織機などの見学をすることができます。また、現役で稼働する織物工場「森秀織物」の、製品を生産する現場を見学することもできます。

所在地：桐生市東4-2-24

電話：0277-45-3111

見学：【開館時間】10:00～16:00

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は営業)

料金：大人 700円、大学生 600円、中高生 500円、小学生 400円



桐生織物記念館 (桐生織物会館旧館)

昭和9(1934)年に建築された、桐生織物向上のため活躍した桐生織物同業組合の旧事務所跡。かつては多くの女性職員が電話交換手やタイプライター事務員などとして活躍していました。

1階ではオシャレでかわいい桐生の織物製品を販売。2階では、織機や織物が展示されており、まゆから製品になるまでの工程や織物産業の歴史について、専門解説員による説明を無料で受けられます。

所在地：桐生市永楽町6-6

電話：0277-43-7272

見学：【開館時間】10:00～17:00

【休館日】毎月最終週の土曜日・日曜日、お盆(8月13日～16日)



足を伸ばして…

白瀧神社

京都から織物技術を伝えたという「白瀧姫」をまつる神社。この織姫の伝説は江戸時代に確立し、絹商人や機織り女たちの信仰を集めました。境内には、耳をあてると機音が聞こえたという大岩「降臨石」や、樹齢300年以上といわれるケヤキがあり、神秘的な雰囲気漂います。また、当地から朝廷へ上った若者が、和歌を通じ身分の違いを乗り越えて白瀧姫を妻とした伝説から、縁結び神社として知られています。

所在地：桐生市川内町5-3288

見学：社殿ほか建物は外観のみ見学可



・その他の絹にまつわるスポットを巡る

ベーカリーカフェレンガ 建物

大正時代に建てられたレンガ造りのノコギリ屋根工場をリノベーションした、おしゃれなベーカリーカフェ。日本遺産に認定された伝建地区(桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区)の周辺にあり、建物は国の登録有形文化財にも指定されています。

美味しいパンやドリンクを、織物工場だった趣ある建物の中で、歴史を感じながら味わってみてはいかがでしょうか？

所在地：桐生市東久方町1-1-55
電話：0277-32-5553
営業：8:00~18:00(平日)
7:00~18:00(土日祝日)



しみずや 食べ物

日本一の養蚕県である群馬では、養蚕農家の“かかあ”が、日中の作業を終えて帰宅してから、手軽に作れて、しかも家族みんなでお腹いっぱい食べられる料理として「おっきりこみ」が重宝されてきました。群馬の絹文化を知る上で、「養蚕農家の“かかあ”の味＝おっきりこみ」は欠かせません。

「しみずや」では、揚げ野菜入りでトマト味の、ちょっと変わったおっきりこみを味わうことができます。チーズがのった洋風の味付けで、女性にもおすすめです。

所在地：桐生市新宿1-10-9
電話：0277-44-5780
営業：11:00~15:00、17:00~19:00



着付体験 着物

織物のまち桐生で着物を愛し楽しむ団体「桐生おりひめ倶楽部」により、毎月第一土曜日に、お得な着付けメニューが用意されています。着物のレンタルと着装がセットでわずか3000円。織物の産地ならではの、高クオリティ低コストのサービスです。

着物を身に着け、レトロな雰囲気漂う町並みを散策してみませんか。

所在地：桐生市本町2丁目 喫茶「大風呂敷」
電話：090-4000-5543(問い合わせ先：桐生おりひめ倶楽部 山本)
営業：着装受付9:00~12:00、返却時間16:00まで



・まち歩きをさらに楽しむために・・・

“織都桐生”案内人の会

レトロな雰囲気漂い、グルメスポットもたくさんある伝建地区は、ガイドの説明を受けながら観光すると、より一層お楽しみいただけます。観光ガイド「“織都桐生”案内人の会」が、お客様のニーズに合わせて桐生のまちをご案内します。2時間のご案内で1人あたりおよそ100円と、とてもリーズナブル。案内人の会のガイドはわかりやすいと好評です。是非ご利用ください。

お問い合わせ：0277-46-1111（桐生観光協会：桐生市観光交流課内）



MAYU



桐生駅が起点の無料コミュニティバス。低炭素型スローモビリティとして全国的に注目を集めています。ゆったりとしたスピードで桐生のまちを眺めれば、新たな魅力が発見できるかもしれません。車内では観光ガイドをしてくれるので、桐生の歴史や観光スポットを知るには最適です。運行ルート、時刻表は桐生市ホームページ (<http://www.city.kiryu.lg.jp/kankou/annai/1001827.html>) をご覧ください。

お問い合わせ：0277-46-1111（桐生市観光交流課）

・関連イベント

日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」in桐生

■日時：11月12日(土) 10:00~16:00

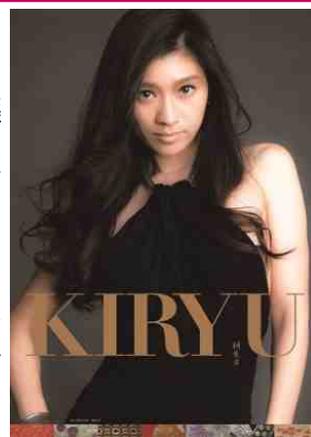
■場所：あーとほーる銚座（桐生市本町4丁目85）

■内容：基調講演、パネルディスカッション、日本遺産を観る・楽しむ

■主催：群馬県、桐生市、かかあ天下ぐんまの絹物語協議会、上毛新聞社 ほか

桐生といえば・・・

桐生市の観光ポスターをご存知ですか？市の観光大使である女優の篠原涼子さんがモデルとなり、ファッション誌の表紙のようであると、一躍話題になりました。このたび桐生市では、この話題となったポスターと同じ写真を表紙とした観光パンフレットを作成しました。桐生市をまち歩きするのに役立つ情報が満載です。桐生市役所観光交流課、新里支所・黒保根支所、市内の公民館・観光施設、JR桐生駅等で手に入りますのでぜひご覧ください。



取材先のご紹介や画像提供など、ご相談ください。

群馬県広報課 ぐんまイメージアップ推進室

TEL：027-897-2695 E-Mail：kouhuka@pref.gunma.lg.jp